



## 2 「健康長寿日本」の実現

### 【施策の方向性】

- 新しい生活様式にも対応した健康づくり・予防医療の促進
- 新型コロナウイルスへの対応強化やデジタル技術の活用など安定的な医療・介護提供体制の確保
- 障がい者等の就労や多様な社会参加の促進

### 【主要な事業】

**新型コロナウイルス対策**  
219億5千1百万円

新型コロナウイルス患者等が入院するために病床を確保した医療機関に対する空床補償、軽症者等の宿泊療養施設の確保、感染拡大傾向時における無料PCR等検査の実施など、引き続き、新型コロナウイルス対策にしっかりと取り組んでいきます。

### 【ウオーキングプロジェクト】

1千2百万円

山形県民は通勤・買い物等で車を使うことが多く、コロナ禍で運動する機会も減少していることから、「コロナに負けない身体づくり」推進のためウオーキング大会等を行います。



楽しく歩いて健康づくり!

### NEW

### 医療的ケア児支援センター

1千7百万円

医療的ケアが必要な子どもと、その家族が安心して暮らせるように、山形大学医学部附属病院内に「医療的ケア児支援センター」を開設し、専門的な相談体制や関係機関との連絡調整機能を強化します。

### NEW

### 障がいの者への賃金向上

2千5百万円

障がいの者の賃金向上を図るため、「共同受注センター」を設置し、障がいの者就労事業所との取引を斡旋・紹介するとともに、事業所と企業の多様な連携・協力を促進する「ふれあいパートナーシップ企業」制度を創設します。



## 4 「一人当たり県民所得」の向上

### 【施策の方向性】

- 先端技術やビジネス関係人口の活用等による産業構造の転換
- スタートアップ支援等による雇用の創出
- 農林業をけん引する高度な人材の育成
- 全国に誇る「果樹王国やまがた」の再生・強靱化
- カーボンニュートラルに貢献する「森林ノミクス」の加速
- 水産業の成長産業化と漁業人材の育成
- マイクロツーリズムやワーケーションをはじめとする新たな観光需要への対応など観光・交流の拡大

### 【主要な事業】

**次世代自動車関連分野への参入促進**  
1千1百万円

新たな市場獲得を目指し、県内企業の次世代自動車関連分野への参入を促進するため、専門家を配置して推進体制を構築するとともに、工業技術センターとの共同研究により県内企業の新製品開発を支援します。

### 全国初

### 地域課題解決型ビジネスの創出

3千万円

本県の新たな創業支援拠点「スタートアップステーション・ジョージ山形」を活用し、産学官民の多様な強みやノウハウを持ち寄り、地域課題の解決に当たるビジネスの創出を促進します。

### NEW

### ポストコロナに向けた観光誘客の復活

4千1百万円

観光カリスマ等のアドバイザーを招聘し、観光人材を育成するとともに、SDGsなどの新たな視点を取り入れた旅行商品の造成や販売プロモーションにより、観光誘客を図ります。

### 全国初

### 果樹王国やまがた再生への支援

6億1千万円※

新たな担い手の参入等に向けたJAや農業法人等が行う先行投資型果樹団地の整備や、さくらんぼの安定出荷・品質向上に向けたやまがた紅王・紅秀峰の苗木導入等への支援を戦略的に展開していきます。



「やまがた紅王」今年6月プレデビュー



## 3 県民幸せデジタル化

### 【施策の方向性】

- すべての県民がデジタル化の恩恵を受けられる社会づくり
- 住民の利便性向上を最優先したデジタル化の推進
- 産業分野におけるデジタル化の加速

### 【主要な事業】

**マイナンバーカードの取得を促進**  
1億9百万円

政府が今年度中にほぼ全国民への交付を目指しているマイナンバーカードの取得促進に向けた取組みとして、複数市町村の連携による出張申請受付や、市町村の住民票等のコンビニ交付サービス導入に伴う費用の一部を支援します。

### NEW

### 結婚支援の強化

2千9百万円

総合的な結婚支援事業を展開している「やまがたハッピーサポートセンター」にAIマッチングシステムを導入し、AIがおすすめるの方を紹介する機能を追加するなど、出会いの機会を拡大するとともに、伴走型支援を行います。

### NEW

### ものづくり分野の生産性向上

8千7百万円

ものづくり分野の生産現場において、デジタル技術やロボットの導入により、生産性向上を実現する人材を育成するため、県内企業の在職者等を対象とした研修を行います。

### NEW

### 道路の維持管理の効率化に向けた検証

2千万円

県管理道路の維持管理にAIを活用し、人間の目では判断しづらい路面や斜面の大きな損傷につながる箇所を効率的に抽出するための調査・検証を行います。



労働生産性の向上に寄与するロボット



## 5 やまがた強靱化

### 【施策の方向性】

- 流域治水などソフト・ハード両面における防災力の強化
- 地方分散等を見据えた交通ネットワークの整備や利活用の促進、新たな交通需要の創出
- 地域公共交通の利便性向上
- カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの推進

### 【主要な事業】

**治水対策の推進**  
128億6千2百万円※

令和2年7月豪雨等を踏まえた最上川等の治水対策に引き続き取り組むとともに、河川の流下能力を向上させるため、支障木の伐採や堆積土砂の撤去に加え、新たに土砂がたまりにくくする対策を取り入れ、水害リスクの軽減を図ります。

### 庄内沿岸エリアの活性化

2千7百万円

洋上風力発電の導入に向けた協議を進めるとともに、酒田港の基地港湾化を目指し、調査・検討を行います。

### NEW

### カーボンニュートラルの推進

1億2千5百万円

令和2年8月に宣言した「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向け、県民への普及啓発など機運醸成を図る県民運動を展開するとともに、高断熱・高気密住宅と再生可能エネルギー設備を組み合わせた住宅の建築を支援します。

**米沢トンネル(仮称)整備の早期事業化へ**  
2千8百万円

本県の未来を拓く山形新幹線「米沢トンネル(仮称)」の早期事業化に向け、機運醸成や要望活動、山形新幹線の沿線活性化の取組み等を推進するとともに、具体的なルート検討を進めるため、JR東日本との共同調査を実施します。



山形新幹線「米沢トンネル(仮称)」のイメージ

※ 令和3年度2月補正予算額を含めた額